

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	高密度ポリエチレンフィルム
MSDS整理番号	MSDS-31-HD-0001
会社名	大倉工業株式会社 静岡工場
住所	静岡県菊川市加茂 2158
担当	製造課 技術係
電話番号	0537(35)3151
FAX番号	0537(36)5404
緊急連絡先	静岡工場 製造課 技術係
緊急連絡先電話番号	0537(35)3151

2. 組成、成分情報

単一製品、混合物の区分	混合物
化学名又は一般名	ポリエチレン
化学特性	安定で反応性に乏しい
危険有害不純物	該当しない

CAS No.・官報公示整理番号・成分組成

①ポリエチレン

成分名	CAS番号	化審法No.	安衛法No.	含有量(%)
ポリエチレン	9002-88-4	6-1	6-1	99.0 以上
添加剤	—	—	—	1.0 未満

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性	可燃性固体で消防法指定可燃物にあたる。
物理的及び化学的危険性	通常取り扱いでは危険性は無いが、粉塵を発生すると粉塵爆発の危険性を有する。
特定の危険有害性	特になし

4. 応急処置

目に入った時	危険な物質ではないが、眼球を傷つける可能性があるため、清潔な水で十分に洗い流す。異物が目に残るようであれば、眼科医の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	通常は特に問題ないが、石鹼水で洗い流しておく。 溶融物が付着した場合は、衣服の上から大量の水をかけ十分に冷却し衣服を脱がせる。但し、溶融物が皮膚に付着している場合は、無理に剥がしてはならない。
吸入した場合	異常が認められた場合は、医師の手当てを受ける。 高温の溶融樹脂から発生するガスをひどく吸入した時は新鮮な空気への場所に移す。 異常が認められた場合は、医師の手当てをうける。
飲み込んだ場合	大量の水を飲ませて、指を差し込んで吐かせる。 異常が認められた場合は、医師の手当てを受ける。
応急措置をする者の保護	特になし

5. 火災時の措置

消火剤	水、粉末消火器、泡消火器、CO ₂ 消火器、乾燥砂など
使ってはならない消火剤	特になし
特定の消火方法	火元の燃焼源を断ち、風上から大量の水、又は消火剤等により消化する。

消火を行なう者の保護 大規模火災の場合は、呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	フィルム先端で皮膚等を傷つけたり、転倒したりするおそれがあるので、注意する。
環境に対する注意事項	風雨による再飛散の恐れがある場合は、シート等で覆い、下水、河川、海域等に流出しないように注意する。
除去方法	少量の場合は、掃除機、箒等で容器に回収し、清掃する。 多量の場合は、周囲を火気厳禁とし、速やかに掃き集め容器に回収する。
二次災害の防止策	漏出した場所の周辺には、関係者以外の立ち入りを禁止し、付近の着火源となるものを速やかに取り除く。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い 技術的対策	加工中、静電気を発生することがあるので、静電除去装置を必要な場所に適宜設置する。 フィルム先端が鋭くなり、皮膚等を傷つける恐れがあるので保護具を着用する。 重量物の場合、手足の保護及び腰痛防止の為に適切な治具を用いる必要がある。
注意事項	粉塵発生や溶融を伴う作業をするときは、局所排気・全体排気を行なう。
安全取り扱い注意事項	人が転倒しないように歩行域からフィルムを取り除くように留意する。 フィルムで頭や顔を覆うと、窒息する恐れがあるので覆わない。
保管 保管条件	重量物の場合、荷崩れ、落下を防止する。 熱源、発火源から離れた雨・風・日光に晒されない乾燥した場所で常温保管する。
混蝕禁止物質	強酸化剤、熱源、発火源等。

8. 暴露防止措置

許容濃度	規定されていない。 日本産業衛生学会とACGIHはともに、この物質の粉塵に関する許容濃度を定めていない。
------	---

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	固体
形状	フィルム状固体
色	1枚のシート状態で半透明(すりガラス状)、積層状態で白色
臭気	無臭
融点	129~131℃
比重	0.941~0.957(23℃)
溶媒に対する溶解性	水に不溶

10. 安定性及び反応性

安定性	常温では安定で反応性に乏しい
避けるべき条件	高熱、炎
避けるべき材料	強酸化剤

11. 有害性情報

急性毒性	なし(文献による)
局所効果	加熱溶融時の蒸気、ガスは眼及び呼吸器を刺激する。
慢性毒性	なし
特定の影響	IARCの発ガン性区分でグループ3(人に対して発ガン性について分類できない)に分類されている。

12. 環境影響情報

移動性	データ無し
-----	-------

残留性／分解性 生体蓄積性 生態毒性	分解しにくく安定な為、自然界に蓄積される。 データ無し 海洋生物、鳥類が摂取することを防止する為、いかなる海洋や水域でも投棄、放出してはならない。
--------------------------	---

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 包装	産業廃棄物として定められた法令、規則に従って廃棄処理をする。 法的規制に適合した設備と方法で焼却処理を行なう。 下水、河川、海域等への流出に注意し環境中に放出してはならない。 都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に廃棄物の内容を明確にして処理を委託する。 包装材料を焼却する場合は、内容物を除去した後に、法規制の適合した焼却炉で処理する。 都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に廃棄物の内容開示して処理を委託する。
-----------------	--

14. 輸送上の注意

輸送の特定の安全対策及び条件	包装袋が破れないように水濡れや乱暴な取り扱いを避ける。 転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れ防止を確実にこなう。 火気を避ける。
----------------	--

15. 適用法令

法令情報 化学物質管理促進法 労働安全衛生法 毒物及び劇物取締法 消防法 廃棄物処理法	該当しない 該当しない 該当しない 第9条の3 指定可燃物「合成樹脂類（その他のもの）3000kg以上」 廃棄物の処理及び清掃に関する法律（産業廃棄物、廃プラスチック類） その他この製品に関する貴国又は地方の規制を遵守して下さい。
--	--

16. その他の情報

引用文献 制約事項	各社の製品安全データシート 記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改定されることがあります。 また、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものですので、特別の取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。 記載内容は、情報提供を主目的とするものであって、保証するものではありません。
--------------	---

特定の化学物質含有情報シート

会社名 株式会社関東オークラ
 住所 静岡県菊川市加茂2158番地
 担当部門 技術係
 電話番号 0537-35-3151 FAX 番号 0537-36-5404
 作成/改訂 平成 19 年 9 月 12 日/平成……年……月……日

[管理番号] HD-73

[製品名] 32 エアークイック用300幅、400幅

[本シートの使用法]

弊社では平素より製品の物質管理及び情報収集に努めております。また情報は国内法の規定に従いMSDSに記載して、お客様にお届けして参りました。しかし海外法等の規定から、特定の化学物質の詳細な含有情報をご要求頂く事が増えております。本シートはこのようなご要求にお答えして、MSDSを補完する目的で作成しました。

[製品中の特定の化学物質含有調査]

主要海外法規の規制物質を中心に調査いたしました。

物質群名	含有 1)	含有濃度(%) 1)	備考 1)
カドミウム及びその化合物	なし		
六価クロム化合物	なし		
鉛及びその化合物	なし		
水銀及びその化合物	なし		
TBT類、TPT類	なし		
TBTO	なし		
塩化パラフィン(短鎖)	なし		
PBB類	なし		
PBDE類	なし		
PCB類	なし		
ポリ塩化ナフタレン(塩素数が3以上)	なし		
アスベスト類	なし		
特定アゾ化合物 2)	なし		
オゾン層破壊物質	なし		
放射性物質	なし		

1) 意図的に添加したことで含有する濃度を記載しました。非意図的に混入を確認した場合は備考にその旨記載してあります。

2) ドイツの法律は、発がんが危惧されるアミンを 30ppm 以上発生するアゾ色素を対象に使用を制限しています。メーカーが試験を行い安全性が担保された物質には適用除外があります。対象用途は皮膚に接触する繊維等です。詳しくはメーカーにご相談下さい。またETAD JAPANのHPをご覧ください。

[その他] 以下の国内法上管理要求されている物質の含有量は製品安全データシート(MSDS)を参照下さい。

◎化管法 ◎安衛法(通知対象物質) ◎毒劇法(毒劇物)

本製品は下記国内法で製造輸入を禁止されている物質を意図的に添加しておりません。

◎ 化審法(第1種特定化学物質) ◎安衛法(製造禁止物質) ◎毒劇法(特定毒物)

作成: 株式会社関東オークラ 工場長 宮崎 章

